

熊本地域医療

当院HPは
こちらから



センターだより

院長 杉田裕樹

令和6年(2024年)9月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222
〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号 <https://krmc.city.kumamoto.med.or.jp>

2024 **9** 月号 通算232号

熊本地域医療センター 理念

かかってよかった。紹介してよかった。働いてよかった。
そんな病院をめざし、地域社会に貢献します。

contents

わかりやすい診療部紹介 ~小児科~	P1
わかりやすい部門紹介 ~感染対策チーム(ICT)・抗菌薬適正使用支援チーム(AST)~	P2
親戚会ボーリング大会開催しました	P3
第55回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会の参加報告について	P4
令和6年度「連携の会」開催のお知らせ	P4

わかりやすい 診療部紹介 Ver.3

~小児科~

~小児夜間救急医療と子ども医療電話相談(#8000)~

うえの やすし
小児科医長 上野 靖史



平素より大変お世話になっております。熊本地域医療センター小児科の上野です。

当院小児科の大きな特徴は、「開業小児科」「熊本大学病院小児科」「当院小児科常勤医」が三位一体で行っている小児一次・二次救急体制は「熊本方式」の中心的役割を担っているところ

です。出動協力医として診療していただいています先生方には、日常診療でお忙しいにもかかわらず手伝ってくださり、心より感謝申し上げます。

以前から、「小児夜間急患センター」には軽症の患者が多く受診して、人手の足りない小児科医の勤務環境を悪化させているという問題がありました。また、保護者からは「今受診すべきか明日でいいのか、どこで診てもらえるのかの情報を知りたい」というニーズもありました。これらの問題を解決するための事業として、子ども医療電話相談(#8000)が平成16年に開始されています。全国同一の短縮番号#8000へ電話することにより各都道府県の相談窓口へ転送され、相談員から保護者へアドバイスを与えます。熊本県では熊本県医師会が委託を受けて、熊本市医師会、熊本県小児科医会と連携して運営しています。私自身も平成25年から運営委員として携わらせていただいています。熊本県では平日は19時から、土曜日は15時から、日祝日は8時から、いずれも翌朝8時まで相談に対応しています。19時から23時までは地元の相談員が、それ以外の時間帯は県

外コールセンターで対応しています。

令和5年度の熊本での実績(19時から23時)ですが、1日平均34.8件、年間で13,108件の相談件数がありました。相談の対象児は低年齢が多く、0歳が最多(23.2%)です。相談内容は発熱(30.7%)が最も多く、嘔気・嘔吐(9.7%)、頭部打撲(6.0%)、咳(5.7%)と続きます。相談内容の発症時期は、1時間前からが49.5%、6時間前からが21.9%、12時間前からが7.6%、24時間前からが20.3%で、発症後早期の相談が多くみられています。1件あたりの相談対応時間は4~5分が19.9%で最も多く、3~7分で65.8%、15分以上が1.0%です。相談対応者による緊急度判定は、直ちに受診を勧めた+119番を勧めたが14.8%で、何かあれば受診61.6%、翌日受診15.1%、受診不要2.2%です。地区別内訳としては、熊本市が55.2%と最も多く、菊池14.0%、宇城6.4%、上益城5.3%と熊本市近郊が比較的多くみられます。医療圏間の格差がみられていますので、熊本県がホームページやラジオなどの広報媒体を活用して啓発し、市町村を通じて普及啓発のカードやグッズの配布を依頼したりしています。

医師会員の先生におきましても、日常診療で患児のご家族へ#8000を勧めていただければ幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

熊本県・熊本県医師会・熊本市医師会・熊本県看護協会・熊本県小児科医会
熊本県 **子ども医療電話相談**

相談員	相模 真由
受付時間	平日: 19時~翌朝8時まで 土曜日: 15時~翌朝8時まで 日祝日: 8時~翌朝8時まで
相談員	※毎日23時~翌朝8時まで、 土曜日15時~19時まで、 日祝日8時~19時までは、 コールセンター(県外)で 相談に対応します。

県内統一
#8000
またはダイヤル回線電話、IP電話、光電話から
☎096-364-9999

※県内、ダイヤル回線、IP電話、光電話からの利用不可
※県外からの利用不可
※県外からの利用不可
※県外からの利用不可

熊本県医師会
〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号

わかりやすい 部門紹介

～ 感染対策チーム (ICT) ・ 抗菌薬適正使用支援チーム (AST) ～

感染管理認定看護師 **ながお みすず**
長尾 美鈴



当院の感染対策チーム (ICT) ・ 抗菌薬適正使用支援チーム (AST) の歴史ですが、ICTが発足したのは、2012年4月で当時は感染防止対策加算2を算定していました。一方、ASTは、2018年度の診療報酬改定で、抗菌薬適正使用加算が新設され、ICTが兼務する形で活動を開始しました。また、同年感染防止対策加算1に算定を変更しました。加算2から加算1に算定を変更するにあたり、地域の医療施設と連携を図る必要があり、当時の院長廣田昌彦先生にご尽力頂き、2施設(西日本病院と西村内科脳神経外科病院)と連携を結び、感染対策に係るカンファレンスを年4回開催し、現在までに通算26回開催しています。今年度、新たに小林病院が連携施設に参加となり、4施設で感染対策の向上を目指し連携を図って参ります。

ICTは、院内で起こる様々な感染症から患者さんや職員の安全を守るために活動を行う組織で、

院内を巡回するラウンドを定期的に行っています。昨年度より、週1回の院内ラウンドを週2回に増やし、感染対策がすべての場所で正しく実践されているか院内を巡回し確認を行なっています。ASTは、血液培養陽性患者・特定抗菌薬使用患者へ介入し、医師に対して抗菌薬処方のアドバイスを行なっています。2019年6月にWHOが抗菌薬使用量から抗菌薬適正使用を判断するための指標である「AWaRe分類 (Access、Watch、Reserve)」を打ち出しました。本年度診療報酬改定で「抗菌薬適正使用体制加算」が新設され、『Access 抗菌薬に分類される抗菌薬の使用比が60%以上又はサーベイランスに参加する医療機関全体の上位30%以内であること』が算定要件となりました。当院でも、今後 Access 抗菌薬の使用比を上げる取り組みを行っていきたいと考えています。

今後も藤井慎嗣先生を中心に当院 ICT ・ AST は、組織横断的に病院全体の感染対策活動及び抗菌薬適正使用支援に従事し、感染症に対する良質かつ適切なチーム医療を推進して参ります。

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

※9月の勉強会は開催いたしません。次回は10月開催予定となっております。

日時 / 2024年10月28日(月) 19:00~20:00

形式 / ハイブリッド方式 オンライン参加 or 会場参加

オンライン参加: ZOOM 会場参加: 2階多目的ルーム

申し込み方法 / kumamotochiiki@gmail.com (※1) まで

メールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。(後日、詳細な参加方法についてご案内いたします。)

※会場参加を希望される方は、事前にお申し込みください。人数制限によりご案内できない場合がございます。

※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。

(※1)メール作成QRコード



①症例報告

『未定』

呼吸器内科 未定

②特別講演

『麻酔導入後の気道確保ガイドラインについて』

CC: 未定

麻酔科 柳 文治 医師

熊本地域医療センター

☎096-363-3311 (代表)

■紹介や転院調整はこちら

※地域医療連携室師長が対応いたします。

(平日9:00~17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)

☎096-366-1323

編集後記

Y 地球温暖化で、経験したことのない豪雨や暑さが続くものとは覚悟をしていました。一方で、台風の進路にも影響するとは知りませんでした。南海トラフ地震は温暖化とは無関係に起こるのでしょうか。そんな自然災害も恐れず、今後もイベントを楽しみにしたいと思います。

K 今年の夏は暑すぎました。熱中症に注意といろんなところでアナウンス。家の中でもなると、終日クーラーつけっぱなし。今まで見たことのない電気料金。滑らかな右肩上がりではなく急激なアップに家計だけが冷え冷えとなりました。

H 今月は地域医療連携室の大きなイベントのひとつである「連携の会」を開催予定です。本誌4面に詳細を掲載しております。皆様のご参加をお待ちしております。

親栄会ボウリング大会開催しました

親栄会 おがた 緒方 ゆうか 夕楓

7月12日、熊本市中央区「スポーツ熊本」にて毎年恒例のボウリング大会を開催しました。

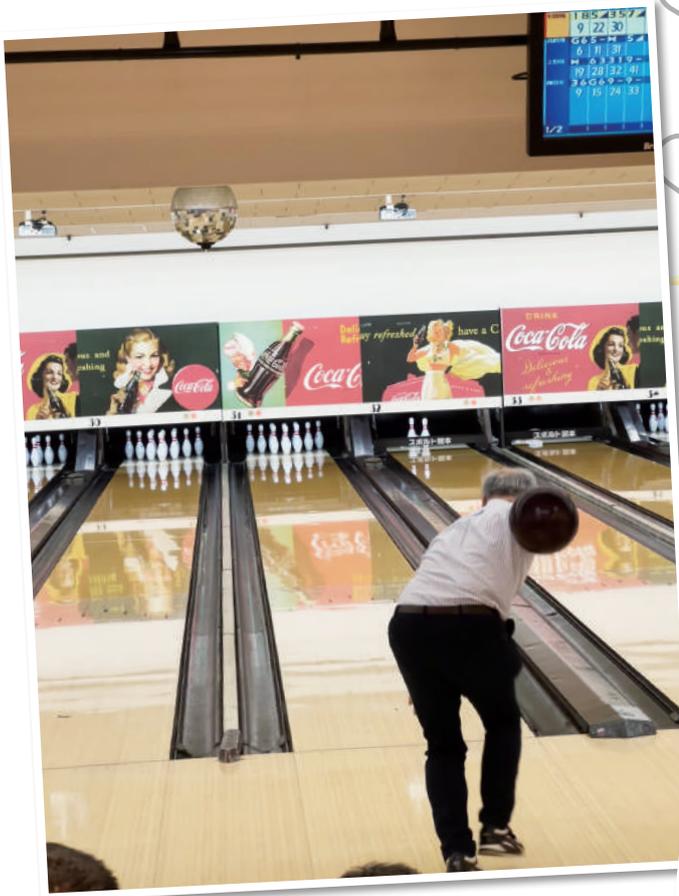
コロナ禍で延期していた親栄会のイベントも、復活して早1年。今年は82名という、近年最多の参加者数でした。

杉田院長の久々の参加で、急遽始球式を行うことに。大注目の第一投…惜しくもストライクならずでしたが、大歓声のスタートです。2フロアほぼ貸し切りの会場では、あっちのレーンでスベア、こっちはストライク…に気を取られて自分はガーター、なんてことも。歓声の絶えない、賑やかで楽しいゲームになりました。そして毎年恒例の表彰式。1～5位、飛び賞、ブービー賞、沢山の賞品を用意しました。中でも一番盛り上がりは、男性1位の発表。何

と同スコアで1位が2名になったのです。(ちなみに1位はカニ、2位は某焼肉屋食事券)白熱したジャンケンも、ボウリング大会の伝説として語られること間違いなし。最後は親栄会会長の上野先生にもご挨拶いただき、無事終了となりました。

親栄会は様々なイベントを開催しますが、ボウリング大会はその年度で1番最初のイベントです。幸先のいいスタートを切ることができ、参加者の皆様・親栄会役員の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

今後もチーム一丸となって地域医療センターへ貢献できるよう励んで参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



第55回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会の参加報告について

総務課 庶務係長 ^{いわもと} 岩本 ^{さちえ} 祥恵

令和6年7月6日（土）～7日（日）、ホテル日航熊本において、第55回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会が熊本市医師会の担当で開催されました。

平成28年に第48回協議会を熊本市医師会担当で開催する予定でしたが、熊本地震の影響で中止となり、翌年福岡市医師会様のご厚意により、福岡・熊本の共同開催とさせていただいたため、平成20年以来16年ぶりの熊本開催となりました。

九州各地47の郡市医師会から約600名の参加があり、医師会病院部門には、執行部から宮本副会長、鶴田理事、田嶋理事、8名の職員（協議会スタッフとして他5名）が参加しました。

管理者会では鹿児島市医師会様から「アフターコロナにおける事業計画」として 医師会病院のあり方を再設置・検討し、後世に繋げる道筋を作らなければならないとの内容で発表をいただきました。

また第1分科会では、熊本市医師会から、「休日夜間急患センターの待ち時間表示について（平井内科系診療部長）」、「看護業務の効率化による働き続けられる職場づくり（吉田看護部長）」2題の発表を行ない、朝倉医師会様からは「令和6年能登半島地震 DMAT 派遣を終えて」、宮崎市

郡医師会様からは「心不全診療におけるタスクシフティング・タスクシェアリング・地域連携への取り組み」というテーマで発表をいただきました。

2日目には、日本医師会長松本吉郎先生より「医療を取り巻く最近の動向と日本医師会」、北里柴三郎記念館館長北里英郎先生より「新千円札肖像に選ばれた北里柴三郎のひととなり」のご講演をいただき、盛会にて無事終了いたしました。

様々な取り組みや現状について貴重な講演を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

なお、協議会は九州・沖縄各県の持ち回り開催となっておりますので、次回熊本担当予定は8年後の令和14年度となります。



熊本地域医療センター「連携の会」開催のお知らせ

『令和6年度 連携の会』

日時：9月27日（金）18：30～

場所：熊本ホテルキャッスル

・講演会 18：30～ 地下1階「クリスタルホール」

「当センターの現況について」……………院長 杉田 裕樹 医師

「地域医療連携室の取り組み」

……………総合診療部長 兼 手術部部長 兼 地域医療連携室長 柳 文治 医師

「熊本地域医療センター小児科の役割と特徴」

……………小児科部長 柳井 雅明 医師

「呼吸器・アレルギー診療の最前線」

……………アレルギー内科部長 兼 アレルギー診療センター副センター長 津村 真介 医師

・懇親会 19：30～ 2階「キャッスルホール」

事前に出欠をいただいておりますが、変更がございましたら下記へご連絡ください。

☎ 096-366-1323（地域医療連携室直通） 担当：竹原、井、井上